

苫小牧市長 岩倉博文 様

大会等誘致推進に関する要望書

苫小牧市大会等誘致推進協議会

令和2年度大会等誘致推進に関する要望について

本協議会は、平成12年5月の設立以来、苫小牧市をはじめ、関係機関・団体との連携を図り各種大会及び合宿団体の誘致活動に取り組んで参りました。

苫小牧市におかれましても、各種スポーツ施設の整備拡充に多大なるご尽力をいただき深く感謝申し上げます。

本協議会と致しましても、これら充実した施設、冷涼な気候、交通拠点都市としての利便性など、本市の優位性を強くアピールすると共に歓迎機運の熟成を図ることで、本市における大会の開催並びに合宿誘致をより一層推し進めていきたいと考えています。

大会等誘致推進事業が産業・体育・文化の振興を促進し、交流人口の増大による本市経済の活性化に向けた大きな役割を担うことから、「令和2年度大会等誘致推進に関する要望書」を提出させていただきます。

令和2年1月29日

苫小牧市長 岩倉博文様

苫小牧市大会等誘致推進協議会

会長 藤田 健次郎

1 サイクリングロードの整備について【新】

国道276号線（高丘⇄丸山間）のサイクリングロードは、平成15年に距離表示版を設置し、ロードワークに適した練習場所として多くのチームや市民に活用されています。2020年度は東京五輪マラソン競技が札幌で開催されることもあり、これまで以上に合宿利用が見込まれます。

つきましては、ひび割れや雑草等により、一部に危険な箇所が見受けられることから、サイクリングロード（歩道）の保全整備について要望いたします。

2 白鳥王子アイスアリーナウォーミングアップエリアの設置について【継続】

白鳥王子アイスアリーナは、アイスホッケー競技を中心に国際大会や全国大会等が多数開催されていますが、現在、ウォーミングアップ及びダウンは、アリーナ前のエントランスで行われています。

関係競技団体やチーム等からも要望が寄せられていることに加え、練習効率の向上や一般客への安全性の配慮、国際大会誘致の観点から、白鳥王子アイスアリーナ近辺へのウォーミングアップエリアの設置と諸施設整備について、ご検討頂きますようお願いいたします。

3 スポーツ合宿等補助制度の継続について【継続】

平成27年に設けられたスポーツ合宿等補助制度により、本市を合宿地を選ぶ団体が増加し、多数のリピート利用に繋がっています。

合宿地としての知名度向上と、宿泊施設を始めとする関連事業者への経済波及にも大きな影響があることから、本制度の継続をお願いいたします。

4 日本学生氷上競技選手権大会の4年に一度の開催について【継続】

日本学生氷上選手権大会（インカレ）開催について、学生が在学中に氷都苦小牧でプレーが出来るよう、4年に一度苦小牧での開催をお願いいたします。

5 総合体育館の建設（改修）について【継続】

総合体育館は、1973年に建設され、市民はもとより各種大会や合宿等でも利用され、本市のスポーツ振興に大きな役割を果たしてきましたが、経年による老朽化が進んでいます。

今後、市政計画立案の際、多様な機能を有し、スポーツを通じた賑わいと交流人口の増加に繋がる新たな総合体育館の建設について、ご検討を頂きますようお願いいたします。

6 緑ヶ丘運動公園の合宿利用について【継続】

各施設の改修を終え、充実した機能を有する緑ヶ丘運動公園では、合宿利用が増加していますが、合宿チームのスケジュールを考慮した諸施設の利用について、ご協力をお願いいたします。

また、道央及び道北のテニス、陸上等の強豪チームは、春休み（3月）に練習場所を求めて雪の少ない地域で合宿を行っています。道内屈指のオムニコート、全天候型陸上競技場、積雪の少ない気候等、本市の優位性を活かした合宿誘致活動を推進する為、テニス場及び陸上競技場の早期運営について要望いたします。

7 大会・合宿誘致事業の推進体制強化について【継続】

本協議会としても、誘致活動を積極的に行ってまいりますが、各種の誘致活動推進には、自治体が先頭に立ったまちぐるみの取り組みが大きな要素となることから、財政支援の継続と併せより一層の活動強化をお願いいたします。

8 大会等誘致事業の推進体制の強化について【継続】

苫小牧市大会等誘致推進協議会の実情及び取巻く環境をご理解いただき、財政的支援の継続・強化をお願いいたします。